

2019年度(令和元年度)事業報告(抄録)

(一社)全国腎臓病協議会(以下「全腎協」という)は、1971年「いつでも、どこでも、誰もが必要な時に治療が受けられる」ことを合言葉にして設立されました。今年は、先人が命がけで作上げた今日の療養環境を守り、そしてそのバトンを未来へつなぐため「一人じゃない。仲間と一緒に、助け合い」をスローガンに掲げ、1年間活動に取り組みました。

今年度も引き続き最重要課題である組織対策については、「語り部」の育成及びそのための資料作成と新規入会協力者への謝意の品の贈呈など新たな取り組みを行いました。この他、新規入会者への記念品の提供や特区チャレンジ事業による組織対策への助成事業、ポスター作成も昨年に引き続き実施しました。

また、近年活動が多様化する中、関係団体と連携した活動にも積極的に取り組みました。昨年は「患者と共に慢性腎臓病対策を推進する議員連盟」(CKD議連)が発足したことを受け、患者の立場から参加し、現状や課題について訴えました。また、CKD議連を通じて、厚生労働省、国土交通省等行政、日本腎臓学会、日本看護協会等関係団体と連携強化しました。

この他、診療報酬改定、病床再編、移植医療・再生医療、関東、中国、九州等で発生した集中豪雨等の災害対策、通院・介護対策等諸課題に各委員会が中心となり対策に取り組みました。

なお、2019年末に中国で発生した新型コロナウイルスは、2020年に入り全国に拡散し猛威を振りました。未だ終息の兆しが見えず、リスクの高い透析患者の感染症対策が求められ、全腎協の活動にも大きな影響が出ました。全国の透析患者における新型コロナウイルス感染者数31人、死亡者3人(2020年4月10日現在)となっており今後の拡大も懸念されるところです。全腎協では、厚生労働省への要望書の提出や感染症対策のための情報発信等に取り組みましたが、「3密」を避けるためのWeb会議の導入検討等課題も残りました。

以下、2019年度の主な事業です。

1. 腎臓病に関する市民公開のシンポジウムや講演会の実施

- (1) 2019年度全国大会
2019年度全腎協全国大会 in 大分～新時代 笑顔で生き生き透析ライフ～
- (2) 第26回腎不全対策キャンペーン講演会の開催
- (3) 腎臓病(CKD)シンポジウム及び講演会等の開催

2. 臓器移植普及・推進のための国民に向けた啓発事業の実施

- (1) 臓器移植市民公開フォーラム in 北海道
- (2) 臓器移植普及推進月間、市民等を対象に全国街頭キャ

- ンペーンの実施
- (3) 臓器移植推進グリーンリボンパレード及び前日祭臓器移植フォーラムの開催

3. 腎臓病に関する無料相談の実施

- (1) 専門家(医療ソーシャルワーカー、管理栄養士、認定心理士)による電話相談(フリーダイヤル)事業
 - ①フリーダイヤルで専門相談を実施
 - ア. 生活相談
ソーシャルワーカーによる「生活・福祉」相談 114件
 - イ. 栄養相談
管理栄養士による「食事・栄養」相談 82件
 - ウ. こころの相談
認定心理士による「こころ」相談 37件
 - ②事務局への相談
 - ア. 事務局電話・FAXによる相談件数 803件
 - イ. 事務局宛メールによる相談件数 120件

4. 腎臓病に関する情報発信

- (1) 会報「ぜんじんきょう」の発行
年6回(No.293～No.298)、年間総発行数54万部
- (2) 「声の会報」
視覚障害者等に音声化し、加盟組織を通じて「声の会報」(CD)を配布。
- (3) ホームページの活用
- (4) ニュースレターでの情報発信
2019年度「全腎協ニュースレター」第1～8号を発行

5. 通院介護対策事業への取り組み

- (1) 2019年度通院介護研修会の開催
- (2) 透析患者の過疎地・離島の通院送迎調査の実施
- (3) 介護医療院の視察
- (4) 情報発信
通院ボランティア通信「はーと なび」第110号を発行

6. 透析医療の確保、治療と生活の質の向上への取り組み

- (1) 「患者と共に慢性腎臓病対策を推進する議員連盟」(CKD議連)及びワーキンググループによる国会内勉強会の開催
- (2) 2019年度全国青年研修会の開催
- (3) 再生・移植医療の調査
- (4) 厚生労働省2020年度予算の要望
- (5) 厚生労働省への人工腎臓透析用剤、ヘパリンナトリウ

- ム製剤の安定供給確保に関する要望書の提出
- (6) 「CKDになっちゃった どうする?こうする!」CKD重症化予防啓発リーフレットの作成・配布
日本宝くじ協会の助成事業として作成、印刷部数25,000部
都道府県加盟組織ならびに日本腎臓学会に配布

7. 生活・所得補償

- (1) 生活できる年金額の実現への取り組み
- (2) 腎臓病患者、透析患者の就労支援

8. 災害対策

- (1) 災害時におけるマニュアルの整備
小冊子「災害に備えて」の発行準備
- (2) 台風、地震等の被害調査
- (3) 行政、関係団体等との連携による災害対策への取り組み
- (4) 壁新聞の発行

9. 調査研究と政策提言

- (1) 第49次国会請願
(新型コロナウイルス感染症対策のため開催を延期)
請願筆数：535,952筆
請願募金：1,948,933円(2020年3月31日現在)
- (2) 第64回日本透析医学会学術集会への参加
- (3) 「透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言」(案)

10. 組織的課題への対応

- (1) 一般社団法人への移行としてふさわしい組織基盤の確立
 - ①2019年度全国事務局長会議の開催
 - ②2019年度全国代表者シンポジウムの開催
 - ③「事務局ハンドブック」の発行(追加資料)
- (2) 組織強化、入会率の増加への取り組み
 - ①第64回日本透析医学会学術集会へのブース出展による患者会紹介
 - ②「語り部」の加盟組織患者会への派遣、「語り部」用冊子の印刷
 - ③新規入会協力者への謝品の贈呈
 - ④新規入会者へのトートバッグの進呈
 - ⑤入会案内ポスターの改定と印刷
 - ⑥都道府県組織を対象とした助成事業「特区チャレンジ事業」の実施
助成金総額：3,517,468円
 - ⑦パソコン購入助成事業の実施
助成金総額：1,792,966円
- (3) 事務局体制の整備
常勤役員1名増員、加盟団体学習会、税務事務手続き

- 説明会等への参加
- (4) 中長期の全腎協の運営、財政について検討する機関の設置
会長を委員長とし中長期運営検討委員会の開催

11. 事業推進のために

- (1) 各種会議の開催
 - ①社員総会
第6回定時社員総会 6月1日・2日 大森東急REIホテル
 - ②理事会
第21回通常理事会 4月13日・14日 アワーズイン阪急
第15回臨時理事会 5月19日 TKP品川
第16回臨時理事会 6月 2日 大森東急REIホテル
第17回臨時理事会 7月28日 アワーズイン阪急
第22回通常理事会 9月28日・29日 アワーズイン阪急
第18回臨時理事会 11月24日 アワーズイン阪急
第23回通常理事会 1月25日・26日 アワーズイン阪急
第24回通常理事会 3月 7日・8日 アワーズイン阪急(中止)
 - ③業務執行役員会
2018年度第28回から2019年度第9回及び臨時1回 延べ14回開催
- (2) ブロック会議 9ブロック 延べ19回開催
- (3) 事業推進体制
委員会の設置と現状に合致した委員会体制作り
 - ①中長期運営検討委員会 ②組織対策委員会
 - ③社会保障委員会 ④通院介護委員会
 - ⑤災害対策委員会 ⑥青年委員会
 - ⑦創立50周年記念事業準備委員会
 - ⑧コンプライアンス委員会
- (4) 関係学会等との連携
 - ①公益社団法人日本透析医会との懇談会の開催
 - ②一般社団法人日本透析医学会との懇談会の開催
- (5) 関係団体との連携
 - ①JD日本障害者協議会への役員の派遣、会議、勉強会への参加
 - ②JPA日本難病・疾病対策協議会へ役員の派遣、会議、勉強会への参加

全腎協第7回定時社員総会を開催

第7回定時社員総会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により書面による決議で9月14日に承認されました。本号31～35ページ掲載の2019年度事業報告、決算報告、貸借対照表ならびに、会報300号30～35ページに掲載の2020年度事業計画、予算が承認されました。